

カンガルーシップ活動 就労支援プロジェクト 実施報告書

報告日	平成30年2月15日
主管学校名	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
P T A会長名	時任 文代

実施概要	主管校	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
	交流校	
	実施活動名	進路に関する勉強会 (①進路研修視察, ②夏の講演会)
	実施日時	① 6月6日(火), 10月3日(火)ともに9:00~15:00 ② 7月29日(土) 9:50~12:00
	実施場所	① 鹿児島市内及び鹿児島市周辺の事業所, 施設 ② 鹿児島大学教育学部附属特別支援学校生活訓練棟「なかまの家」ホール
	実施目的	施設や事業所等の見学, 障害者福祉の動向や社会移行に向けての講話を通して保護者の進路に対する意識を高める。
	実施内容	① 鹿児島市内及び鹿児島市周辺の事業所, 施設の見学 ② 障害者福祉の動向と望ましい福祉サービスの活用についての講話の聴講
	実施方法	① 事前アンケートに基づいて決めた見学先を訪問し, 説明を受けたり, 質問したりする。 ② 社会福祉法人の方を招へいして, 近年の福祉の動向や望ましいサービス利用の在り方について知る。
参加人数	① 第1回 40人 第2回 45人 ② 保護者48人 職員12人 子供25人 学生ボランティア11人 計96人	

報告事項	内容	① 第1回 生協コープかごしま産直センター(一般事業所), 社会福祉法人常磐会ウィズ(自立訓練, 就労移行支援, 就継B型)を訪問し, 卒業生を含む利用者の様子を見たり, 施設についての説明を受けたりした。第2回は ユーススコラ鹿児島(生活介護, 自立訓練), 旭福祉センター(自立訓練, 就労移行支援, 就継B型)を訪問した。 ② 社会福祉法人常磐会法人本部統括部長の大橋紘一先生に「障害者福祉の動向と望ましい福祉サービスの活用について」をテーマに講演していただいた。
	結果	① P T A会員の要望を受けて, いろいろな種類の施設等を訪問した(一般事業所, 就労移行支援, 就継B型, 生活介護, 自立訓練)。また, 制度上は生活介護, 自立訓練施設であるが, 「福祉型大学」をうたっている施設の見学を行ったり, グループホームの見学を行ったりすることで将来の我が子の進路選択の幅を広げることができた。計画段階では, 各施設に謝金を準備したが, どの施設も受け取らなかった。計画の見直しが必要である。 ② 昨年度の反省アンケートをもとに, 講師を選択し, 講演内容を依頼した。ニーズに応じてテーマを決めているので非常に関心が高かった。夫婦で参加できるようにこれまで職員が託児を行っていたが, 職員からも話を聞いてみたいという要望が挙がったため, 学生ボランティアに協力をもらい, 交替しながらであったが職員も話を聞くことができた。次年度以降も学生ボランティアの協力をもらえるようにしたい。
	所感	普段なかなか聞けない内容や将来に向けて考えなければならない内容など, 保護者のニーズと合った内容であったため参加者の満足度は高かった。次年度以降, 支援機関の方や卒業生の話を聞きたいという希望が出ているので, 卒業生の就労先や支援機関の方なども一緒に来ていただき, 実際の生活や支援事例などについて講話をいただく機会の設定も可能と考える。また, 別の会で本校の実習などの取組を紹介したことで附属幼稚園のP T A役員から実習先のあっせんを受けた事例があるので, 他の附属学校園と連携を取ることで, 実習先や進路先の開拓にもつながると思われる。

添付書類	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者アンケート ・進路に関する勉強会記録 講師作成資料
------	--

カンガルーシップ活動
就労支援プロジェクト
参加感想

提出日	平成30年2月15日
学校名	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
学年	

児童生徒は、職員や学生ボランティアによる保育を受けていたので、参加していない。

カンガルーシップ活動 就労支援プロジェクト 参加感想

提出日 平成30年2月15日

学校名 鹿児島大学教育学部附属特別支援学校

① 進路研修視察について（保護者アンケートより抜粋）

- ・ 生協コープ産直センターでは、障害のある方を雇用した時、入職から定期的なミーティングを開くなどして丁寧に指導をされているという話を聞いてとても感動しました。健常な方と障害のある方とのトラブルの具体的な内容や対応の仕方についても聞いてよかったです。
- ・ 生協の方のお話で、自分の子も働ける職場かもと希望がもてました。障害者に対しての理解も深く、働きやすそうな職場だと思いました。
- ・ コープさんの障害のある方への配慮や思いをお聞きし、とてもうれしく思っし、こういう仕事場の方々の思いが広がってほしいと思った。
- ・ ウイズさんでは、グループホームの見学もできて、将来の生活環境について考えるよい機会となりました。
- ・ 事業所の方のお話に感動しました。障害者への配慮、理解などうれしかったです。
- ・ 父親の参加もあったが少なかった。どの様に計画すればもう少し増えるか共に考えてみたい。（楽しい研修会でした。）
- ・ 今回もサポートハウス、セルフサポートハウスの違いを視察することができました。ありがとうございました。
- ・ 中学部から初めて参加させていただきました。とても参考になり初めからあのような手厚い会社があることにおどろかされました。今後もいろいろな企業や施設を見ていきたいです。
- ・ 卒業後の進路決定について興味深いお話を聞くことができて良かった。
- ・ 将来について具体的に話を聞くことができて大変良かった。いろいろな目標、目安の設定を考えることができた。

② 進路に関する勉強会について（保護者アンケートより抜粋）

- ・ 土曜日開催ということで、平日の参加が難しい人にとってはよかったです。
- ・ 普段参加しにくい父親も参加できる。
- ・ 福祉の動向、サービス利用についてなど普段はあまり聞くことができないお話を聞くことができ勉強になりました。
- ・ 研修視察で行ったところの先生でもあり、子供たちの卒業後の生活の様子が具体的にイメージできてよかったです。
- ・ 障害者福祉に関することは、年々変わってくるものだから大変勉強になった。毎年あってほしい内容。
- ・ 学校生活が終わり、学校を離れてからの就職の状況や問題点について知ることができました。障害があるからといって、親がいつまでもかまったり、一人で生活させるのはかわいそうだと考えたりするのは間違っているということが印象的でした。少しでも自立した生活に向かえるように先を見据え関わっていくことの大切さを学びました。
- ・ 子供にあった進路を考えていきたいと思いました。学校卒業がイコール就職ではないと知り、余裕をもった考えや対応、柔軟性をもとうと思いました。大変勉強になりました。
- ・ PTA研修でもグループホームの方に少し聞いたのですが、生活力を身に付けて自立した社会生活を送れるように支援していく『福祉経由の進路保障』学校を卒業したけど自立は無理ではなく、福祉に支援してもらおう方法もあるということが分かりました。
- ・ 卒業後の進路という一番の関心事について、専門の方の貴重なお話を聞いてよかったです。
- ・ 子供の将来のことなどいろいろ考えさせられました。とても勉強になりました。
- ・ 就労に関すること、事業所のグループホームやケアホームの話など聞くことができて良かったです。
- ・ 「卒業＝就職は古い」正しいことなのかと言う話は気になりました。その人らしく生きていく人生であるべきではないかということですが、家族がいつまで支えていけるか理想と現実、子供の将来を考えさせられました。
- ・ 保育があったので夏休み最初の土曜日で予定を入れやすかったです。
- ・ 子供も連れて行けるのでいいと思います。
- ・ 日頃参加できない父親メインの会としてこれからも続けてほしいです。
- ・ 就職された卒業生、進学された卒業生の保護者の方から現在の様子や選択にあたって考えられたことや考えれば良かったと思うことなどの話を聞いてみたいです。
- ・ 卒業生が活躍している職場・事業所の方の話を伺ってみたいです。
- ・ 障害者を多く雇用している企業の方の話を聞いてみたい。
- ・ 一般企業の方々に障害者雇用についてお聞きしたい。
- ・ 福祉に関する制度（法律、年金、区分認定）についての内容を聞いてみたい。

P T A進路研修視察のアンケートについて（集約）

1 所属学部 （ 小学 ・ 中学 ・ 高等 ） 部

2 第1回P T A進路研修視察に関する御意見や第2回P T A進路研修視察に向けた御要望

- ・ コープで障害者の事をとても考えてくださっている事に感激しました。
- ・ 生協の産直センターでは、障害者に対する理解と対応の良さが印象的でした。
- ・ コープ産直センターでは、障害者も健常者と同じような待遇で仕事ができることを知り、大変嬉しく思いました。
- ・ 生協コープ産直センターでは、障害のある方を雇用した時、入職から定期的なミーティングを開くなどして丁寧に指導をされているという話を聞いてとても感動しました。謙譲な方と障害のある方とのトラブルの具体的な内容や対応の仕方についても聞いてよかったです。
- ・ 生協の方のお話で、自分の子も働ける職場かもと希望がもてました。障害者に対しての理解も深く、働きやすそうな職場だと思いました。
- ・ コープ産直センターでは企画側のとても理解のある話に感動しました。自分の子供にはレベルが高いと思いましたが勉強になりました。
- ・ コープさんの障害をもった方への配慮や思いをお聞きし、とても嬉しく思ったし、こういう仕事場の方々の思いが広がってほしいと思った。
- ・ 生協コープかごしま産直センターは見学時間が十分に取ってあり説明も詳しくしてくださってよかったです。
- ・ コープはとてもよい条件だったので正直びっくりしました。でも、現実はそのようなものではないので、見学してよかったのかな～と思う一面もあります。
- ・ 常盤会ではグループホームを実際に見学でき、参考になりました。
- ・ ウィズではグループホームの様子がわかり良かったです。
- ・ ウィズさんでは、グループホームの見学もできて、将来の生活環境について考えるよい機会となりました。③
- ・ ウィズはランチ（ホクレア）場所にもなっていたのでスムーズでしたけど、その割にはゆっくりできなかった。
- ・ グループホームを見学できたのは良かったです。遠すぎると感じました。
- ・ グループホームの見学は初めてだったので、とても参考になりました。
- ・ グループホームを見ることができよかったです。②
- ・ 事業所の方のお話に感動しました。障害者への配慮、理解など嬉しかったです。
- ・ 一般事業所でもとても理解のある所があるんだと嬉しく思いました。近くにこういう事業所があると安心してお願いできるのに・・・と思いました。
- ・ 次回の視察は、卒業間近の高等部の方の意見で決めていただけたらと思います。
- ・ 大変勉強になりました。
- ・ 参加者も多く、楽しく参加できた。
- ・ 父親の参加もあったが少なかった。どの様に計画すればもう少し増えるか共に考えてみたい。（楽しい研修会でした。）
- ・ 仕事内容や賃金のことなど、具体的な事を色々知ることができ、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 1日に2ヶ所の見学だったため、せかされることなく時間に余裕をもって見学できたのはとてもありがたかったです。
- ・ 毎回、色々な事業所を視察することができて感謝しております。
- ・ 今回もサポートハウス、セルフサポートハウスの違いを視察することができました。ありがとうございました。
- ・ 事業所、福祉施設、グループホーム等すべて見学できてよかった。
- ・ 中学部から初めて参加させていただきました。とても参考になり初めからあのような手厚い会社があることにおどろかされました。今後もいろいろな企業や施設を見ていきたいです。
- ・ 卒業後の進路決定について興味深いお話を聞くことができて良かった。
- ・ 将来について具体的に話を聞くことができて大変良かった。いろいろな目標、目安の設定を

考えることができた。

・ CO・OPの見学，説明とても良かったです。サポートハウスの見学も，卒業後のビジョンが広がりました。部員の皆さん，朝早くから受付や準備ありがとうございました。

・ 途中参加でしたが，施設の様子や実際働いている方達の様子がよく見れて良かったです。

※ 参加できなかった時の資料配付を行う。

3 第2回PTA進路研修視察の視察先として希望する一般事業所・施設名などをお書きください。

- ・ 医療法人 陽善会 豆富家ようぜん
- ・ 社会福祉法人 常盤会 奏の丘，プメハナ
- ・ Aコープなど障害者雇用の多く，意欲的な事業所
- ・ 大峯にある「Aコープ」が障害者雇用に理解があると知人から聞いたので，視察してみたいです。
- ・ Aコープ
- ・ 生活介護の施設が見学できるといいと思います。
- ・ ユーススコラ⑤
- ・ 南国殖産
- ・ みつばち（設立して・・・今後に関して・・・）
- ・ カクイックス（会社の努力，研修など）
- ・ 天文館にあるチョコレート屋さん
- ・ 天文館にあるパソコンなどをするB型
- ・ 伊敷台4丁目にある作業所
- ・ B型，生活介護をお願いします。②
- ・ 自立訓練を行っている施設を見学したいです。
- ・ 製造ライン（電子部品）等
- ・ パン・菓子製造ライン
- ・ 接客業
- ・ しょうぶ学園③
- ・ 玉竜協同大学
- ・ 卒業生が働いている一般事業所
- ・ 公共交通機関を利用して通える施設
- ・ イーエヌ水耕栽培
- ・ 今回は障害の軽い子の場合だったので，次回はそれ以外の視察先を見学させていただいたら・・・と思います。
- ・ 2箇所とも少しレベルの高いところだったので，後期の視察は軽作業や生活介護事業所なども実施していただけるとありがたいです。

御協力ありがとうございました。

※ 7月3日（月）までに担任へ御提出ください。（担任→学部主事→福島）





P T A進路に関する勉強会のアンケート集約結果について

◎ 今回のP T A進路に関する勉強会に対するの御意見や御感想をお書きください。

○ 日時について

- ・ よい⑭
- ・ 特になし③
- ・ 問題ないです②
- ・ 午前中で良いと思います。
- ・ 土曜日開催ということで、平日の参加が難しい人にとってはよかった。
- ・ 普段参加しにくい父親も参加できる。

☆ 全員よいという意見だった。来年度も7月下旬の開催が適当だと考えられる。

○ 日程について

- ・ よい⑧
- ・ 特になし④
- ・ 普段参加しにくい父親も参加できる。(土曜日の午前中)
- ・ 特に気にならない。夏休み中でもたくさんの方が参加していたのでよいのでは。
- ・ 問題ないです
- ・ よいと思うが、兄弟の部活の行事と重なり、夫婦での参加ができず残念でした。
- ・ 休憩なしで質疑応答でも良い気もします。

☆ よいという意見が多かった。午前中のみの半日開催が参加しやすいようだ。

○ 内容について

- ・ 特になし
- ・ 話が分かりやすく良かったです。②
- ・ 将来のことについて考えさせられた。
- ・ 福祉の動向、サービス利用についてなど普段はあまり聞くことができないお話を聞くことができ勉強になりました。
- ・ 研修視察で行ったところの先生でもあり、子供達の卒業後の生活の様子が具体的にイメージできてよかったです。
- ・ 施設など現在のサービスがよく分かりました。勉強になります。
- ・ 卒業→就職以外の選択肢もあるということが理解できました。
- ・ 障害者福祉に関することは、年々変わってくるものだから大変勉強になった。毎年あってほしい内容。
- ・ 学校生活が終わり、学校を離れてからの就職の状況や問題点について知ることができました。障害があるからといって、親がいつまでもかまったり、一人で生活させるのはかわいそうだと考えたりするのは間違っているということが印象的でした。少しでも自立した生活に向かえるように先を見据え関わっていくことの大切さを学びました。
- ・ 子供にあった進路を考えていきたいと思いました。学校卒業がイコール就職ではないと知り、余裕をもった考えや対応、柔軟性をもちたいと思いました。大変勉強になりました。
- ・ まだ中学部で、内容的に難しかったのですが、あと1年か2年したら、ついていけるかなあと思います。
- ・ わかりやすくとても勉強になったようです。
- ・ P T A研修でもグループホームの方に少し聞いたのですが、生活力を身に付けて自立した社会生活を送れるように支援していく『福祉経由の進路保障』学校を卒業したけど自立は無理ではなく、福祉に支援してもらう方法もあるということが分かりました。
- ・ 詳しい話を聞くことができてとても勉強になりました。
- ・ 卒業後の進路という一番の関心事について、専門の方の貴重なお話を聞いてよかったです。
- ・ 子供の将来のことなどいろいろ考えさせられました。とても勉強になりました。
- ・ 卒業後に向けて興味のある内容でしたので良かったと思います。
- ・ 就労に関すること、事業所のグループホームやケアホームの話など聞くことができて良かったです。
- ・ 「卒業＝就職は古い」正しいことなのかと言う話は気になりました。その人らしく生きていく人生であるべきではないかという事ですが、家族がいつまで支えていけるか理想と現実、子供の将来を考えさせられました。

☆ 福祉制度の動向や福祉サービスの活用を知る機会になり、子供の将来を具体的に考える機会になったと言う意見が多かった。

○ その他

- ・ 保育があったので夏休み最初の土曜日で予定を入れやすかったです。
- ・ 先生方が子供を見てくださっているので安心して参加でき、感謝しています。
- ・ 子供も連れて行けるのでいいと思います。
- ・ 勉強会の時間帯に子供と先生方が過ごして下さるのが助かると思いました。
- ・ 特になし
- ・ 興味のある内容でしたが、都合が合わず参加できませんでした。すみません。
- ・ 参加できずすみません。来年度は調整して参加したいと思います。
- ・ 今回都合により参加できませんでした。
- ・ 日頃参加できない父親メインの会としてこれからも続けてほしいです。係の皆様、託児をしてくださった先生方、ありがとうございます。

☆ 勉強会の間に職員に子供を預けることができよかったという意見が多かった。来年度も助勢を募り、安心して勉強会に参加できるようにしていきたい。

◎ 今後勉強会で、話を聞いてみたい内容がありましたらお書きください。

- ・ 特になし
- ・ 就職された卒業生、進学された卒業生の保護者の方から現在の様子や選択にあたって考えられたことや考えれば良かったと思うことなどの話を聞いてみたいです。
- ・ 卒業生の親御さんの話を聞いてみたいです。
- ・ 卒業された先輩たちや保護者のお話を聞いてみたい。(卒業後3年以上の先輩)
- ・ 本校卒業生(1年目, 5年目, 10年目...さまざまな方)の現在の生活の様子など保護者の方からお話を聞いてみたいです。
- ・ いろいろな福祉施設の現状や卒業されたお子さんの保護者の方々にもお話を聞いてみたいです。
- ・ 一般企業に就職させられた保護者の方の話も聞いてみたいです。
- ・ 卒業生が活躍している職場・事業所の方の話を伺ってみたいです。
- ・ 障害者を多く雇用している企業の方の話を聞いてみたい。
- ・ 一般企業の方々に障害者雇用についてお聞きしたい。
- ・ 一般企業の障害者雇用について聞いてみたいです。
- ・ もっといろいろな施設の方の取り組みや思いを聞きたい。
- ・ 就労A型の方の話を聞いてみたい。(B型とA型では、どれぐらい違いがあるかくらべてみたい。)
- ・ ユースコラの米衛先生に話を聞いてみたいです。
- ・ 卒業後の全体的な現状を知りたい。
- ・ 障害基礎年金のこと
- ・ 障害差別解消法について
- ・ 障害支援区分認定について障害福祉課の方の話が聞きたいです。

☆ 卒業生本人や保護者から話を聞いてみたいという意見が多かった。実施する場合は、具体的にどのような話を聞きたいのか本校保護者に再度アンケートをとり、集約した内容について答えていただく方法が考えられる。

その他は、一般企業や福祉施設の方の話を希望する意見や福祉の関する制度(法律, 年金, 区分認定)についての内容を希望する意見が出ていた。

鹿大教育付属特別支援学校

1

子どもを取巻く福祉の動向

望ましい福祉サービス利用の在り方について

社会福祉法人常盤会
大橋 紘 一

社会の変化

ようやく追い風になった福祉政策

社会に目を向けると

Inclusion理念の推進

文科省

校種間の壁の解消
学級間の壁の解消
幼保間の壁の解消
特殊から特別支援

厚労省

施設入所支援から地域支援へ
地域移行の推進
入院治療から在宅治療へ

国交省

ハートビル法 交通バリアフリー法
点字版 音声信号 点字タイル



「教育・支援価値」の変化

特別支援とは

その子に合った支援であって

その子が合わせるのではない

障害は個性 (Inclusion理念)

パニックは誰の責任

●原因

不安：どうすればよいかわからない

不満：自分の意思が通じない

苛立ち：情報が多すぎて整理できない

命令：理解できない注意・命令・強要

親の輸出

指導する側にある

親の願い

地域の保育園へ通わせたい

障害があるが故に
療育に通わせている

早く併行
通園させ
たい

保育園へ
毎日行か
せたい

卒業後の課題



地域の中で **その人らしく生きる支援**

「働く」を考える



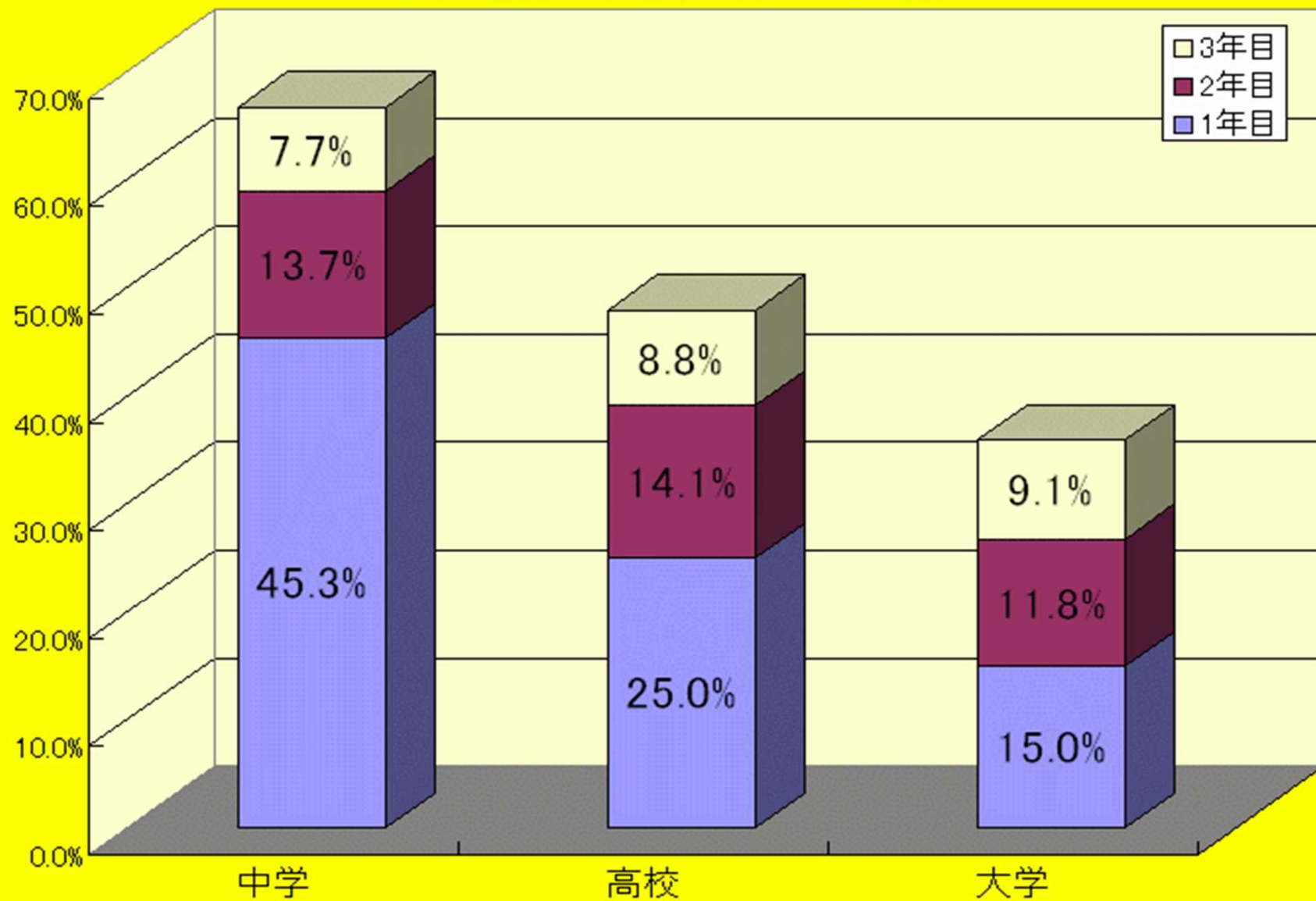
後期中等教育への思い

- **家 族**：卒業したら当然働くべき
元気なうちは働いて欲しい
職業への憧れ
働く姿を見たい
- **学 校**：学部の使命
教師の情熱・責任
就職の実績

卒業生の実態

- **身分：非正規雇用・パート雇用**
 - **実態：経過と共に積もる課題**
 - ・ 働く意義が理解されないままの就労
 - ・ 働く環境の条件整備がなされないままの就労
 - **期間：長期勤務が難しい**
- 卒後、3年目の春を泣いていないか**

新卒社員の入社3年間の離職率



7・5・3 現象

- **卒業生**(h12.3)の**離職率**(厚労省)

中卒73% 高卒50% 大卒36%

- **原因調査** (経済広報センター)

若者自身やその周辺に原因あり 80.7%

理由: 仕事に意義を見いだせず、我慢する精神力がない

雇用主に原因あり 13.2%

理由: 組織として人材を育て上げようとの意識が低い

学習指導要領の変遷(高等部)

教科(職業)目標と内容

昭和47年

目標: 勤労の意義を理解させ

…職業生活に必要な能力を高める

内容: 職業生活についての知識を深め、

適切に進路を選ぶ

現在

目標: 勤労の意義について理解する

と共に職業生活に…実践的な態度を育てる

内容: 働く意義を理解し…喜びを味わう、

責任ある職業人⇒(その人らしさ)の充実へ

進路決定の難しさ

学習指導要領

社会変化

自主性を重んじ進路決定

離職・
トラブル

実際は

社会の豊かさ

何とか就職を

7・5・3現象に見られる課題

若者の課題

- ・働く意義の理解不足

- ・未熟な生活力

周辺の課題

- ・支援・協力体制の構築
- ・限られた学校の応援

後期中等教育への思い

- 家族：卒業したら働くべき・働いて欲しい
就業への憧れ
- 学校：高等部の使命・役割
実績(評価) 進路保障の積極的取組み

消えない古典的価値観

福祉経由の進路保障

後期中等教育の進路保障

作業能力中心の進路指導

見える部分の生活力・ADL

- ・働く意義・生活習慣
- ・基本的作業遂行能力
- ・対人関係能力

- ・日常生活、健康の管理
- ・コミュニケーション能力
- ・自己コントロール力
- ・対人関係の確立
- ・総合力

福祉経由の進路保障

働くための課題整備、総合的力が必要

生活の場

制度の有効利用

福祉サービス

自宅

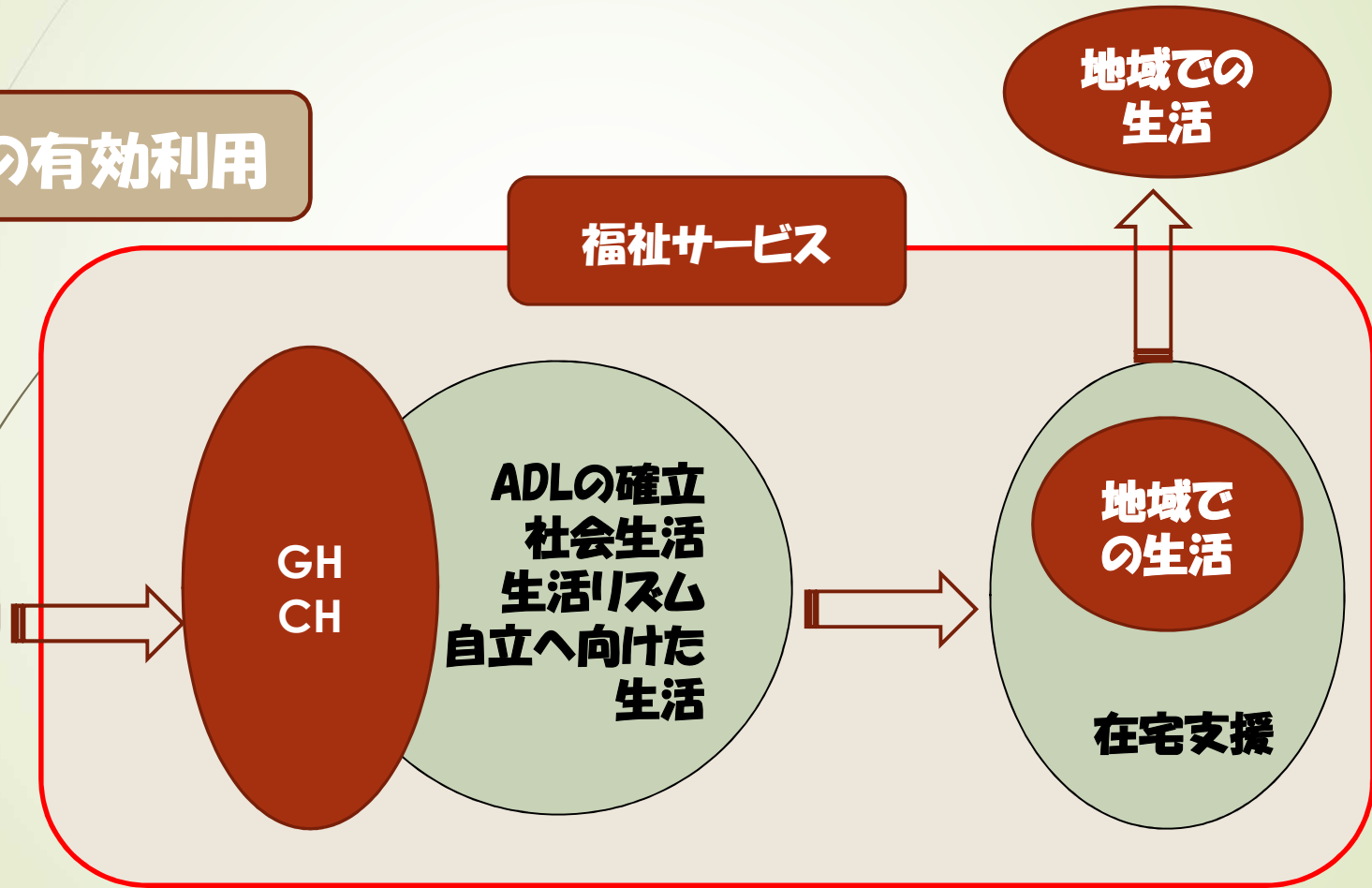
GH
CH

ADLの確立
社会生活
生活リズム
自立へ向けた
生活

地域での
生活

地域での
生活

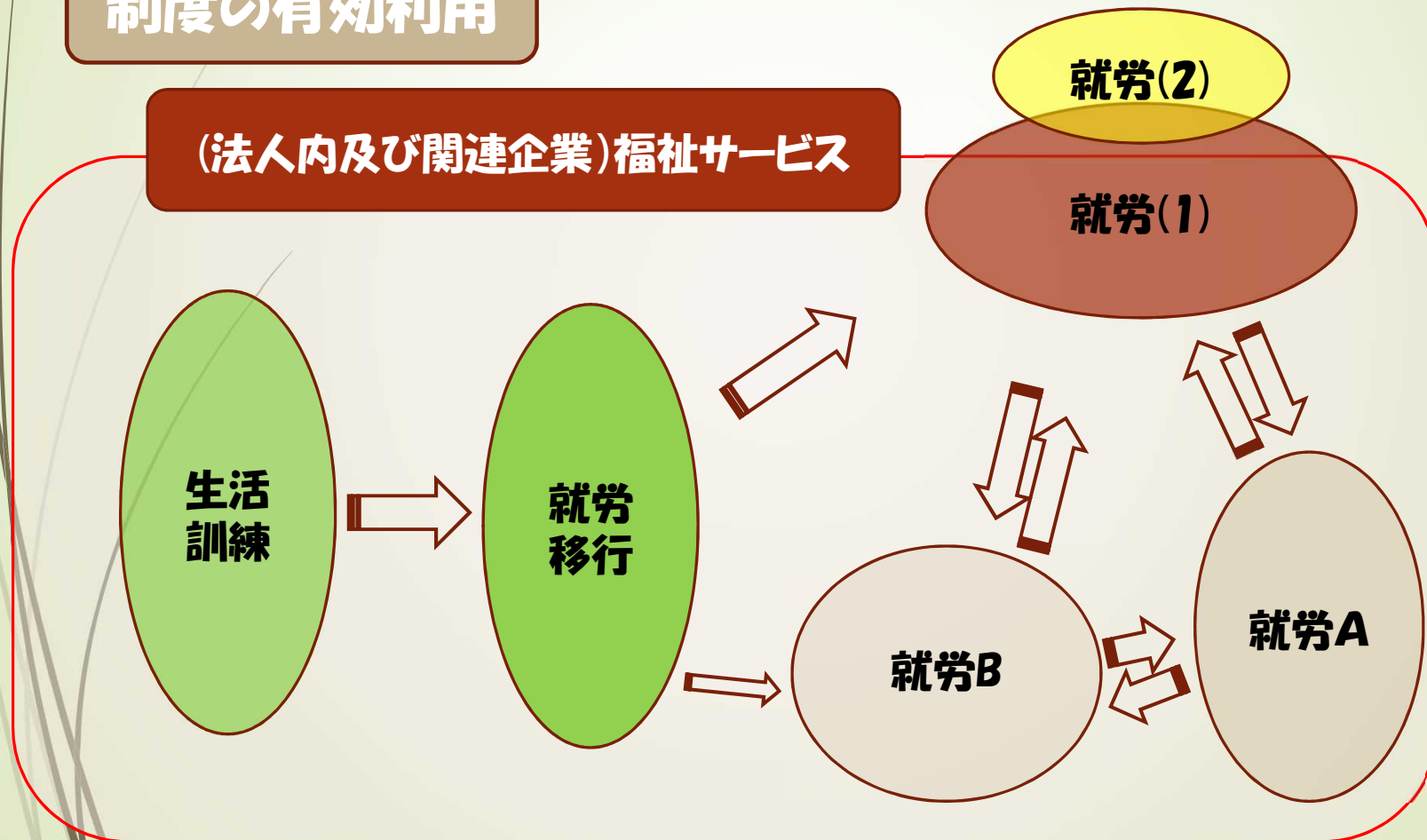
在宅支援




活動(就労)の場

制度の有効利用

(法人内及び関連企業)福祉サービス





教育完結型から 教育福祉完結型へ

安心の保障 常にサポート

時間をかけた支援 個々の実態

個別の目標 両面の支援

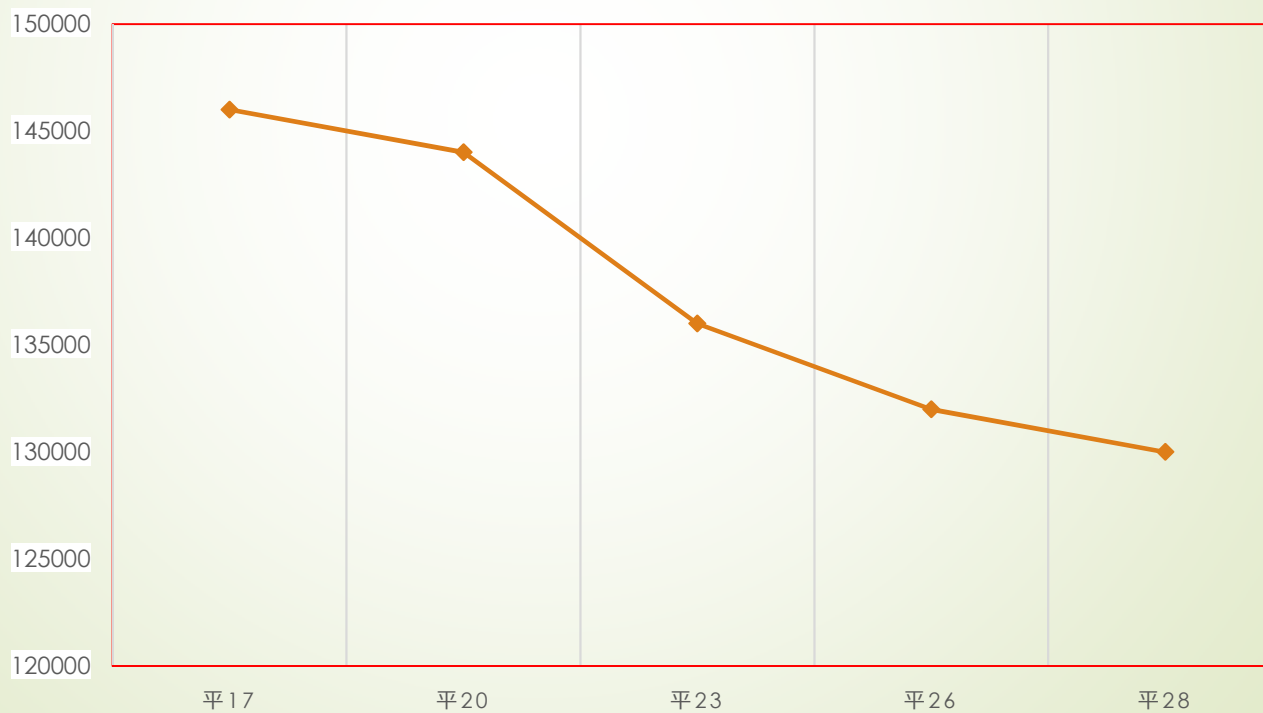
適所の配置 福祉サービス内でのやり取り

何度でも挑戦

地域生活の状況

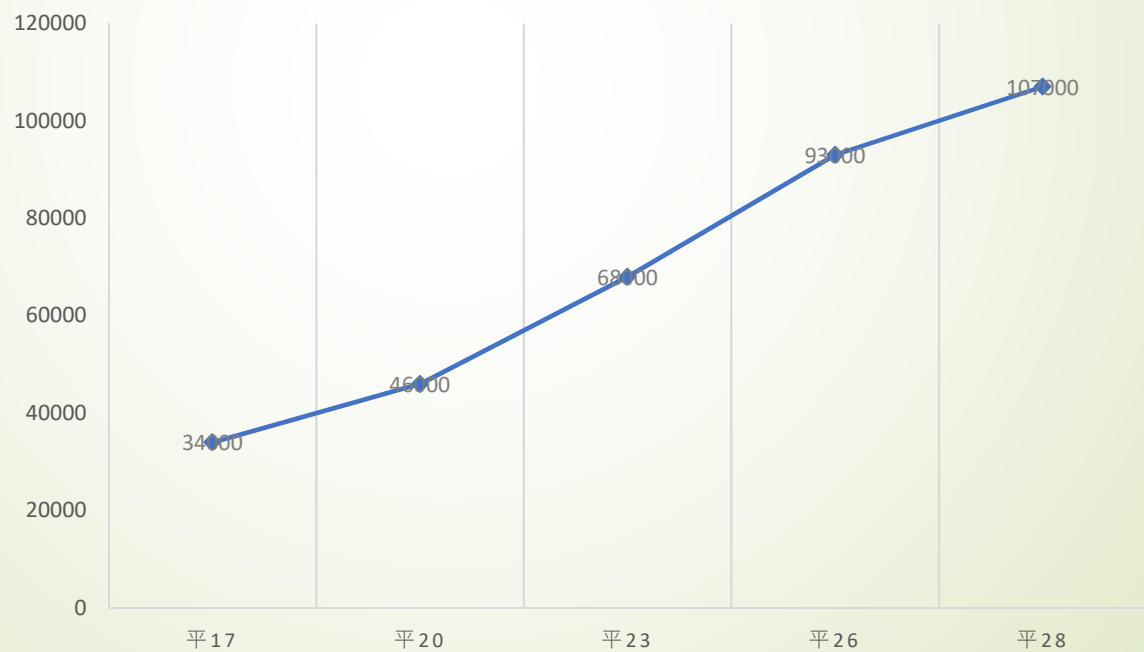
施設入所者数の推移

年度	平17	平20	平23	平26	平28
人数	146000	144000	136000	132000	130000



グループホーム利用者数の推移

年度	平17	平20	平23	平26	平28
人数	34000	46000	68000	93000	107000



退所後の動向

生活の場

家庭等 : 49,4% (親・兄弟と同居)

GH等 : 18,0% (アパート、GH、社員寮等)

入所等 : 21,6% (福祉施設、養護施設、福祉ホーム)

? : 8,6% (児施設1,1% 者施設27,7%)

活動の場

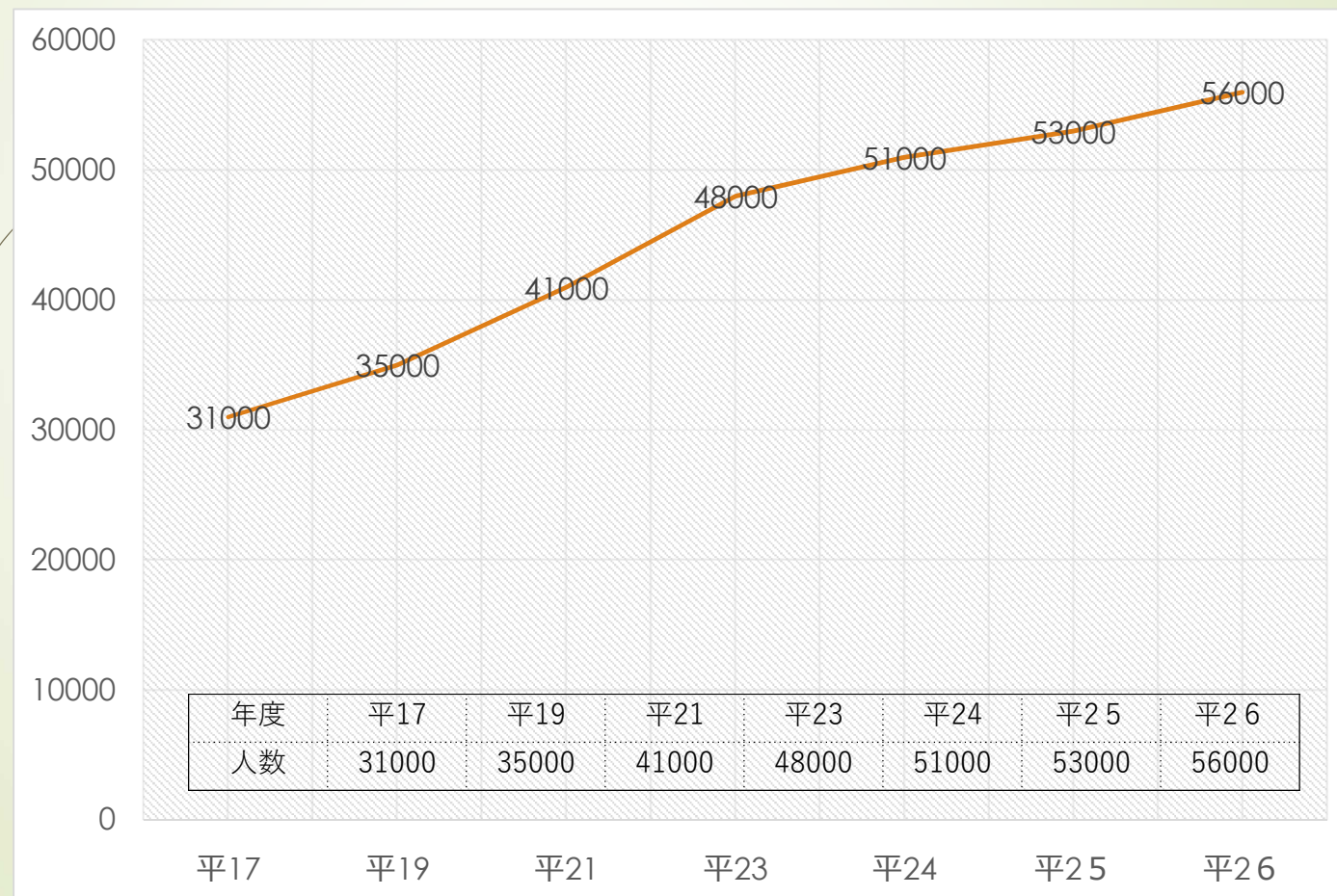
家庭 : 5,5% (家庭のみ)

就 労 : 11,4% (一般就労)

病 院 等 : 8,3% (一般/精神病院入院等)

福 祉 利 用 : 8,6% (生活介護、就労移行/継続/A/B)

障害児の保育所への受け入れ状況



発達支援の専門性とは

- ・ 保育所と同じことをしてはダメ
- ・ 支援すべき内容を示す・・・専門性の向上
- ・ 根拠に基づく支援・・・・・・・・アセスメント
- ・ 地域における支援・・・・・・・・保育所へ送り出す

専門性とは・・・資格でなく、寄り添う支援ができるか、障害者理解と同じ

どこまで続く福祉の課題

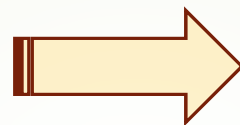
組織には必ず排除が生まれる

素晴らしい制度も必ず漏れを生みだす

生活困窮者、DV被害者、
緊急避難者は誰が救う？

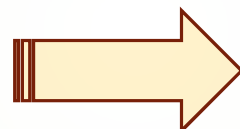
福祉関係者はこれでよいか

福祉の原点は



目の前の
困った人を助ける

企業化



企業拡大・営利追求

サラリーマン化



職責間の希薄化

制度の悪用



アンパンマン療育

社会貢献、地域貢献とは

公益的活動を求めている

社会病理的福祉課題への取り組み

地域の奉仕作業程度では許されない

小さきは小さき
ままたに

折れたるは
折れたるままたに

コスモスの花咲く

鼻地三郎

「どんなに茎が折れ曲がっていよう
が、花びらがいかに小さかろうが、
咲いたコスモスの花はみな美しいの
です」

障害は「個性」 (総理府障害者白書より)

